

ご挨拶

昭和39年(1964)12月1日財団法人金ヶ崎愛護会設立認可を得て、金ヶ崎町西根下餅田に金ヶ崎保育園を創設し、「たくましい子を生み育てる保育事業の実践研究」に着手して、満46年、施設も金ヶ崎保育園(定員140名)、たんぼぼ保育園(定員120名)、東水沢保育園(定員90名)、第二東水沢保育園(定員120名)、他に金ヶ崎子育て支援センター開設、職員の総数139名となり、又、昭和47年(1972)4月1日、知的障害者の生きがいを保障する環境づくり、社会づくりの実践をめざして、奥州市水沢地区に更生施設静山園(定員50名、現60名)をつくり就労基礎訓練(農業、縫工、木工、金工、窯業、5科)施設を整備し企業就労者を送り出し、企業就労者の就労安定の支援として通勤寮ときわ寮(定員20名)を開設した。現在は就労障害者の増加により、4人1組のグループで一軒家を借り地域生活をするグループホームが多くなり21ヶ所のホームで84人の障害者の方が企業就労により地域生活を営み満足する生活の毎日であります。多くの方々の支援により夢の実現に感謝あるのみです。一方、働く力を有しながら場の無い方の夢の実現には授産施設興郷塾(定員50名)を開設し、花卉園芸(花の苗づくり)で地域の方々と交流し、多くの利用者に感謝されて居ります。一方、人工ホダ木を利用した椎茸栽培生産活動もすすめています。又、障害の重い方の支援には更生施設希望の園(定員50名)施設を開設し、レクリエーション等を通じての機能訓練により明るく楽しい毎日の生活を支援して居ります。この様に能力に応じた生きがいを保障する活動の実践をして居ることから、平成17年愛護会創設40周年記念には「知的障害者総合援護施設 静山園本部 厚生大臣斉藤邦吉」の看板の揮毫原稿が大臣より送られ、鑄造し、静山園の玄関に掲げられ職員が朝夕、これを拝し、決意をあらたにし、毎日勤務に励んで居ります。障害者援護事業に従事している職員の数は142名でありますので、それに社会福祉法人愛護会法人本部14名で、愛護会の総職員数は295名となります。295名の愛護会職員は就職と同時に自らの法人職員としての実践課題を「1人1研究」として設定し、研究を続けることになって居り、研究の支援は愛護会立愛育研究所が担当致して居ります。

この研究の成果は所属施設毎に交流され、日常の福祉活動に役立てられて居りますが、この一人一研究の実践研究の成果は愛育研究所主催により公開研究発表大会を開催し多くの方々に隔年公開報告されております。本日開催されて居ります公開研究大会が第19回大会であります。

この公開研究発表大会に提出された「一人一研究レポート」は社会福祉法人愛護会愛育研究所研究紀要第19号として印刷、製本され発行され、愛護会の実践の足どりとして後世に残されることとなって居ります。寄せられている各位のご厚意に心から感謝を捧げるものであります。

平成22年8月29日

社会福祉法人愛護会理事長 高野 繁喜